

【参考】

○ 榎尾中学校区での取り組み状況

市議会議員、学識経験者、PTA、地域関係者が参画する「和泉市適正就学対策審議会」にて、前述のような大きなコンセプトのもとに、現榎尾中学校に施設一体型義務教育学校（小中一貫校）とすることについて、答申がなされました。

当該答申を受け、4月以降に（仮称）学校開校準備委員会を組織し、学校名をはじめ、より具体的に教育内容、校舎、通学、制服、新たなPTA組織等を整理していく予定です。

○ 富秋中学校区における今後考えられるイメージ

- ① まずは、この専門部会での意向集約
- ② その後、他の部会の方針と併せて、検討会議での意向集約
- ③ 説明会、アンケート調査を経て、まちづくり構想素案として、市へ提出
- ④ 市にて、まちづくり構想の確定
- ⑤ これらの方向を受け、教育委員会において、より具体の地域調整
- ⑥ 地域での合意形成、盛り上がり確認されれば、適正就学対策審議会へ諮問し、答申が得られれば、具体の手続きに進む

※その後については、開校までの期間に、より具体的な教育内容の調整や通学対策、制服等の調整を行うこととなります。また、小学生と中学生が一緒にいることへの不安解消対策の推進などに取り組むことが考えられるところです。

施設一体型義務教育学校（小中一貫校）に期待する内容

富秋中学校区等まちづくり検討会議
第10回 子育て・教育部会

富秋
中学校
池上 幸
小学校 小学校



幸小学校



富秋中学校



池上小学校

想定される教育内容等のイメージ

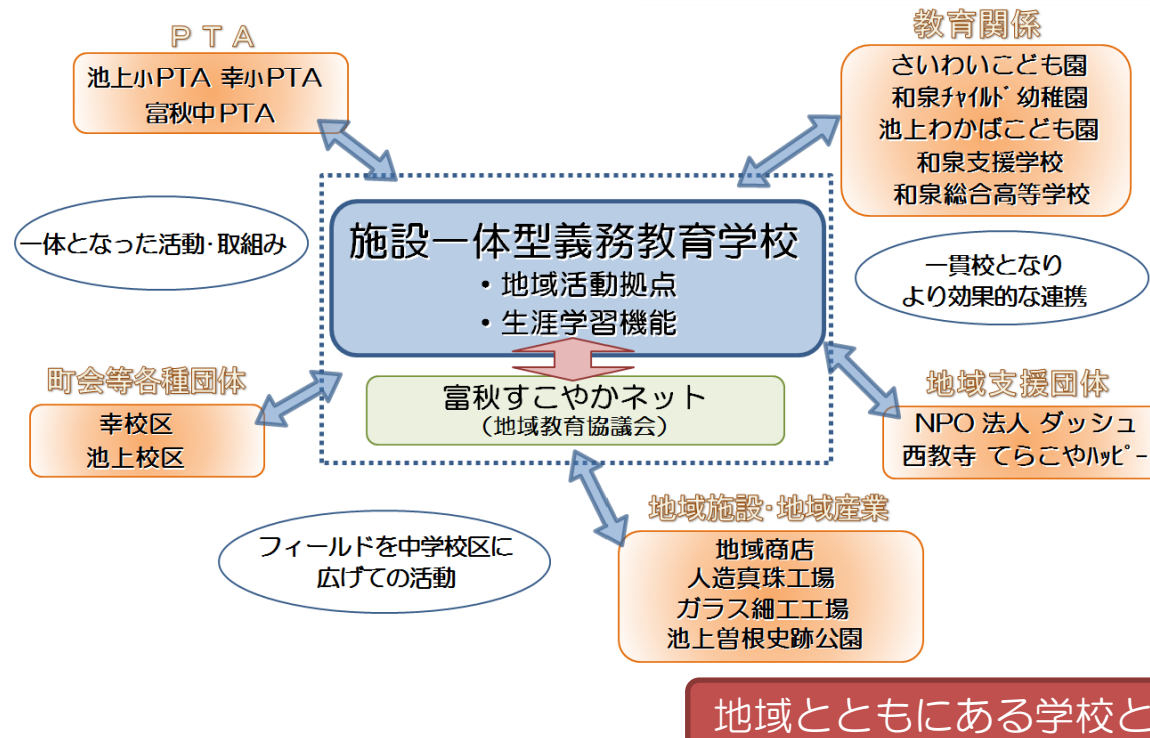
- 1) 施設一体型の特色 を活かした取り組みを展開
→ 1つの学び舎の良さを活かした教育の充実
- 2) 富秋中学校区各校の 教育内容の更なる充実 を展開
→ 地域資源、地域の特色を活かした教育の充実
- 3) 子どもたちを 地域で育てる教育環境づくり を展開
→ 「地域とともにある学校」を念頭に、地域全体で学校、子ども達を支える体制を構築し、学校に地域が集い、活動が可能となる環境を
→ 児童生徒だけでなく地域住民が互いを支えあう環境の展開へ
- 4) 学校施設機能を活用した 多用途活用 を展開
→ 施設を開放し、生涯学習の場や地域活動・交流の拠点としても活用
→ 民間活力の導入も検討し、児童生徒の放課後活動を充実

上記1～4の取り組みを推進することにより、
教育環境の充実を図り、地域の魅力の高まりも期待しています。
また、波及効果として「地域に住みたい」、「地域に戻って子育てをしたい」という機運を高め、若者世代の流入も見込んでいます。

基本方針

「自分のおもいを自分のことばで話せ、人のおもいを聞き取り、受けとめることができる子」の育成をめざして
 ～ 学校・家庭・地域による子どもの育成 ～

- ・人権教育を柱として自分自身と他者を同じように大切にすることを育みます。
- ・地域の教育資源を活かしたキャリア教育を通して、自己有用感を持ち、自らの生き方についての夢や希望を育むことができる取組みを充実させます。



富秋中学校区各校の教育内容の更なる充実

・人権学習や平和学習の充実

- 多様な考え方にふれる
- 仲間づくりの充実

・9年間の系統性を活かしたキャリア教育

- 幸小での起業家教育などから発展させ、富秋中学校の保育実習や職業体験など、キャリア教育を推進させる。

・地域人材や産業等を活用した学習

- 教育エリアの広がりを活かし、人造真珠やガラス細工の工場、地域の商店、NPO 団体、にじの図書館、池上曽根史跡公園等を活用・連携したキャリア教育や地域学習等の充実・発展



保育実習

人造真珠工場見学

子どもたちを地域と育てる教育環境

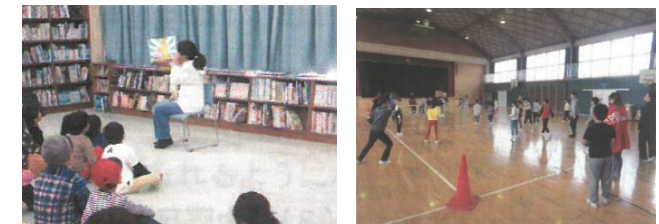
・地域教育協議会(富秋すこやかネット)を軸とした地域と学校の協働による、子どもの育成の充実

・子育てサポート事業によるイベントや出前講座

・地域ボランティア等による読み聞かせ活動や学校図書館の地域への開放

・地域活動室を設置し、地域人材を活かした学習支援活動や通学の見守り、放課後活動や部活動のサポートなどの充実・発展

・幸校区、池上校区が1つのフィールドとなった学習環境の広がり



保護者や地域人材による読み聞かせ

池上小土曜日教室

施設一体型を活かした教育

・小中教員による9年間の育み

- 系統的な学習指導
- 小中教員によるきめ細やかな生活・生徒指導
- 各家庭とのつながりの深まり

・中学校教員による小学校段階からの一部教科担任制

- 中学校への円滑な接続

・小学校段階からの部活動参加

- 運動・文化にふれる機会や学校生活の充実
- 上級生の自己有用感の育成

・異学年交流の充実

- 図書館での上級生による読み聞かせや合同での給食や掃除など
- 多様な関わりの中で社会性や協調性を育成

・児童・生徒による主体的な学校風土の醸成

- 下級生への見本となる上級生としての意識
- 児童・生徒自身による課題解決
- 児童会・生徒会の一体化による縦割り行事や委員会活動の充実



中学校音楽専科による授業



中学生との清掃活動

学校施設機能を活用した多用途活用

・グラウンドや体育館、一部教室を生涯学習の場として活用

・留守家庭児童会、放課後子ども教室の開設

・地域による子ども支援の取り組みや活動に家庭科室やランチルーム等を提供

・放課後学習、教育活動の充実

- 一部教室を活用し、民間の塾などの設置開催



南松尾はつが野学園ランチルーム

いずみ希望塾

その他

・児童数増による複数学級の確保

- 多様な考えにふれる学習機会の充実
- 遠足や社会見学等の校外学習の充実

・PTA活動の活性化

- ひとつのPTAとして効率化、負担軽減が図れる

・地域がより深く関わり学校運営を進めるコミュニティスクールの推進モデルとして